

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	現在は主に、社長が町内会のゴミ掃除や地域行事に参加している。今後は、職員も一緒に地域活動や小学校の通学路で行われる”挨拶運動”等の参加方法を検討していく予定である。	職員のみ限定せず、入居者様も一緒に参加できるようにする。	社長を筆頭に行事に参加し、計画を立てて参加を呼びかける。入居者様にも参加可能なものがあれば、後日参加促し、地域行事参加の喜びを感じていただく。	12ヶ月
2	26	今後はさらに、職員全員で記録用紙の在り方を見直す予定である。日々のモニタリング内容を職員間で共有するとともに、体調変化時などはカンファレンスで検討し、適宜ADL等の能力評価や計画の見直しを行う予定である。	職員内での意見共有・適切なケアが行えるようにする。	入居者様により多く接することが出来るように記録の省略化、ケア実施記録内で不十分になっているところがあれば、早急にカンファレンスを行い、充実したケアを行えるようにする。	6ヶ月
3	33	長く勤務する職員も多く、緊急対応等の研修を受講されている。今後はさらにホームの看護師も一緒に緊急時や終末期のマニュアルを見直し、少しでも安心して週末ケアが行えるように努めていく予定である。	家族、スタッフが安心安全にケアが行えるように、看護師の視点も取り入れ、改善を図る。	医療機関との連携を密に行えるように提携を組み、家族・職員が安心して携わっていけるよう、デメリット部分の改善を行う。職員は、再度、終末ケアについての理解に努める。	6ヶ月
4	35	防火管理者も変わり、今後もさらに自然災害に関する避難計画と消防計画の見直しを行う予定である。	誰が見ても理解できるように、改善を図る。	防災マニュアル・消防避難マニュアルを再度作り直し、地域連携を行えるよう、密な内容を入れる。詳細等は、毎度避難訓練時に改善を図る。	6ヶ月
5					ヶ月